

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-ア	産業のイノベーション創出を担う高度人材の育成と活用	施策	①即戦力となる情報系人材の育成・確保
			施策の小項目名	○高度なIT人材等の育成
主な取組	高度情報通信産業人材育成		対応する成果指標	IT関連国家資格取得者数(累計)
施策の方向	<p>・情報通信関連産業の高度化を担う人材の育成については、先端技術に詳しいエンジニアやサイバーセキュリティ人材、デジタル技術とビジネスをつなげるDXコンサルティング人材や開発プロジェクトのマネジメント人材等を産学官連携により育成を図ります。データサイエンティストについては、琉球大学など教育機関と連携し、学生をはじめ幅広い人材を対象とした育成プログラムを構築し、県内企業のDXを推進する人材として育成を図ります。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>県内IT関連産業の高度化・高付加価値化を図るため、先端技術の知識や開発力を有するエンジニアやプロジェクトマネージャー等の人材育成に取り組む。</p>	<p>県,民間</p>	<p>県内ITエンジニアの知識や技術の高度化・強化のための人材育成講座実施支援</p>		
		<p>講座受講者数(累計)</p>		
		200人	200人(400人)	200人(600人)
担当部課【連絡先】	<p>商工労働部ITイノベーション推進課 【 098-866-2503 】</p>		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	先端IT人材育成支援事業			予算事業名	先端IT人材育成支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	32,535	55,045	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	56,268
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
先端技術やプロジェクトマネジメント、ビジネスプロデュースに関する研修を40講座、経営者等の意識啓発セミナーを5回開催した。				先端技術やプロジェクトマネジメント、ビジネスプロデュースに関する研修を25講座、経営者等の意識啓発セミナーを4回開催する。		

活動指標名	講座受講者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	573人	164人	325人	200人	100.0%	順調	ITエンジニア等を対象に先端分野に関する技術講座、資格対策講座等を40講座、経営者及び管理者を対象とした先端技術の必要性に関するセミナーを5回開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

人材育成講座の受講者数は目標値の200名を超える325名が受講し、目標を達成した。当該講座を通して受講者のプロジェクトマネジメントやマーケティング等の知識・技術の高度化が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
知識や開発力を学ぶための座学研修に加え、OJTなどの実践的な研修を実施することで、より付加価値の高い業務案件を獲得するための人材を育成する。 ビジネスプロデュース力やプロジェクトマネジメント力を養成するための講座を実施する。	令和4年度から、OJT/PBLの実践研修、ビジネスプロデュース力やプロジェクトマネジメント力を養成するための講座を実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県内IT産業は慢性的な人材不足の状況であり、特に上流工程の開発業務を受注するためのプロジェクトマネージャーが不足している。	⑥ 変化に対応した取組の改善	プロジェクトマネジメント力に関する人材育成を支援し、人材不足の解消に努める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-ア	産業のイノベーション創出を担う高度人材の育成と活用	施策	①即戦力となる情報系人材の育成・確保
			施策の小項目名	○高度なIT人材等の育成
主な取組	産学官連携によるデータサイエンティスト等の育成		対応する成果指標	IT関連国家資格取得者数(累計)
施策の方向	<p>・情報通信関連産業の高度化を担う人材の育成については、先端技術に詳しいエンジニアやサイバーセキュリティ人材、デジタル技術とビジネスをつなげるDXコンサルティング人材や開発プロジェクトのマネジメント人材等を産学官連携により育成を図ります。データサイエンティストについては、琉球大学など教育機関と連携し、学生をはじめ幅広い人材を対象とした育成プログラムを構築し、県内企業のDXを推進する人材として育成を図ります。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
大学など教育機関と連携し、学生をはじめ幅広い人材を対象としたデータサイエンティスト等の育成プログラムを構築し、県内企業のDX推進人材として育成する。	県教育機関	データサイエンティスト等データ活用人材育成に関する産学官連携体制の構築、育成方針の検討		
		大学等との連携による意見交換会等の開催数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課 【 098-866-2503 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
-	-			-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
データ活用等デジタル活用人材育成に関する大学との意見交換を2回実施した。				データ活用等デジタル活用人材育成に関する大学との意見交換を2回実施する。		

活動指標名	大学等との連携による意見交換会等の開催数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		-	-	2回	2回	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

産学官連携によるデータサイエンティスト等の育成について、大学等との連携による意見交換会等の開催について、目標値を達成し順調に進捗している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
県内企業のDXを推進する人材の育成を図るため、幅広い人材を対象としたプログラムを検討する必要がある。	データサイエンティスト等の育成について、大学における取組状況等を把握するため意見交換を実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	<p>デジ田国家構想総合戦略におけるデジタル人材の育成・確保の項目のうち、大学等における取組の一つとして、就業者を対象とした応用的なデジタル分野の能力育成を進めるプログラム整備が挙げられている。</p>	② 連携の強化・改善	<p>大学等における取組動向等を把握しながら、引き続き意見交換を進め、データサイエンティスト等の育成について今後の連携等を検討していく。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-ア	産業のイノベーション創出を担う高度人材の育成と活用	施策	①即戦力となる情報系人材の育成・確保
			施策の小項目名	○UJIターンによる技術者の確保
主な取組	デジタル人材UIJターンの支援		対応する成果指標	IT関連国家資格取得者数(累計)
施策の方向	・IT技術者の不足が深刻であることから、国内外の高度IT人材やUJIターンによる技術者の確保など、企業の人材確保に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
県内企業のビジネスの高付加価値化及びデジタルトランスフォーメーション(DX)の実現を通じた県内全産業の発展を図るため、沖縄へのUIJターンを前提にしたIT技術者の採用活動の支援及び高度IT人材を引き付ける先端IT企業の立地を促進する。	県	沖縄へのUIJターンを前提にしたIT技術者の採用活動を支援			
		就職イベントの開催数(累計)			
		3回	3回(6回)	3回(9回)	
担当部課【連絡先】	商工労働部企業立地推進課		【 098-866-2770 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	デジタル人材UIJターン支援事業			予算事業名	デジタル人材UIJターン支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	37,180	27,482	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	24,677
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
UIJターンIT技術者マッチングイベントを5回開催した。また、お試し移住・インターンに5名、IT企業県内立地トライアルには9社が参加した。				UIJターンIT技術者マッチングイベントを3回開催。また、お試し移住・インターンを5名、IT企業県内立地トライアルを5社に対し実施する。		

活動指標名	就職イベントの開催数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-回	5回	5回	3回	100.0%	順調	沖縄へのUIJターンを前提にしたIT技術者の採用活動支援として、WebサイトやSNS等による情報発信を行うとともに、マッチングイベントを5回 (オンライン4回、リアル1回) 開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

進捗状況は、目標値を達成したため、順調とした。
取組の効果として、全5回のマッチングイベントを通して来場者は計271名であり、面接は66件実施された。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>県内企業が行うUIJターン等を希望するIT技術者の採用活動支援としてマッチングを行うとともに、転職希望企業でのインターンを支援する。</p> <p>県内への立地を検討している先端IT企業の立地促進を図るため、県内ビジネス環境での立地トライアルを支援する。</p>	<p>本事業を利用して移住・転職を検討している求職者5名に対し、転職希望企業でのインターンを実施し、沖縄への移住・転職に対する不安解消の支援を行った。</p> <p>沖縄への立地を検討する先端IT企業9社を対象に、県内のビジネス環境でのトライアルを実施するとともに、県内企業との意見交換や交流の機会を設けた。</p>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	県では、年1回のResorTech EXPO in Okinawaのほか、県内のDXを加速させる通年の取組としての「ResorTech Okinawa」をブランディングし推進している。	⑤ 情報発信等の強化・改善	就職イベントに参加する企業の満足度を向上させるため、より移住、転職への確度の高いIT技術者向けのイベントとして広報し、企業の人材不足を早期に改善できるIT技術者の集客を実施する。
④ 社会・経済情勢の変化 (外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として、地方への移住に関する関心の高まりとともに、地方で暮らしてもテレワークで都会と同じ仕事ができるとの認識が拡大している。		
⑦ その他 (改善余地の検証等)	立地企業を対象とした調査によると、沖縄への立地後の人材確保が課題となっているため、より移住、転職への確度の高いIT技術者を集める取組が必要である。		

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-ア	産業のイノベーション創出を担う高度人材の育成と活用	施策	①即戦力となる情報系人材の育成・確保
			施策の小項目名	○海外との架け橋となるICT人材の育成
主な取組	海外IT企業との連携促進に向けた人材交流支援		対応する成果指標	IT関連国家資格取得者数(累計)
施策の方向	・県内IT企業と海外IT企業との連携・協業による海外向けのビジネス創出に向けて、沖縄ITイノベーション戦略センターと連携し、ビジネス交流の促進や、MOU(連携覚書)を締結した海外の関係機関との連携など、アジアをはじめ海外との架け橋となるICT人材の育成に取り組みます。			

1 取組の概要(Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内IT企業の海外展開や海外企業とのビジネスを促進するため、人材の海外派遣及び招聘を通して沖縄と海外を結ぶ人的ネットワーク構築を支援する。	県	海外IT人材及び県内IT人材の交流人数		
		IT人材交流数(累計)		
		20人	25人(45人)	25人(70人)
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課 【 098-866-2503 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 海外IT人材交流育成事業				予算事業名 海外IT人材交流育成事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	9,722	8,594	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	11,178
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内IT人材の海外派遣（6名）及び海外IT人材の県内招聘（5名）を実施した。				県内IT人材の海外派遣（9名）及び海外IT人材の県内招聘（8名）を実施する。		

活動指標名	IT人材交流数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	14人	8人	11人	20人	55.0%	大幅遅れ	新型コロナウイルス感染症拡大による渡航制限が徐々に緩和され、3年ぶりに対面で派遣したほか、ResortechExpoの開催期間に合わせて招へいした海外IT企業と県内IT企業の交流を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>IT人材交流数については、目標値20名に対して11名の実績となったことから「大幅遅れ」と判定している。 3年ぶりに対面で協業等に関する情報交換・意見交換等が行われ、今後のビジネスに向けた交流が図られたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う減便の影響により、目標とする交流数を達成できなかった。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>派遣・招聘による対面交流に加え、web交流を並行実施することによって、海外との往来制限時のみならず、対面交流後の関係強化やフォローにも活用し、ビジネス構築を促進する。 ISCOがもつ海外IT関係団体等とのネットワークを活用し、海外企業を新規開拓し、県内IT企業のビジネス交流につなげる。</p>	<p>オンラインコミュニティサイトの活用により交流の促進を図った。また、ISCOがMOUを締結している関係団体とのネットワークを活用しビジネス交流を支援した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	<p>コロナ禍等、様々な理由により対面交流が困難である状況下においても商談及び契約に結びつくような人材交流のあり方を検討する必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	<p>海外派遣や招聘が困難な状況下でもマッチングや交流の機会を確保できるよう、オンライン形式でさまざまな情報発信を行うと同時に、バーチャルオフィスを開放し、効果的な活用を促すなどの取組を検討する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-ア	産業のイノベーション創出を担う高度人材の育成と活用	施策	②県内企業におけるデジタル活用人材の育成
			施策の小項目名	○各産業のDX促進及びデジタルリテラシー向上に向けた支援
主な取組	全産業におけるDX推進担当の育成		対応する成果指標	デジタル活用人材の育成数(累計)
施策の方向	・各産業のDXを促進するため、企業の経営者や中堅社員等を対象にデジタル技術やビッグデータのビジネス活用、企業DXの取組事例等を紹介するセミナーの開催に取り組みます。企業DXの中核となる人材の育成、従業員の学び直しやデジタル対応力を高めるための研修プログラム等を支援することにより、県内企業全体のデジタルリテラシー向上を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
DX推進の中核人材を育成する座学研修及び実践的な研修の実施	県,民間	DX推進担当育成講座の実施		
		各講座の受講者数(累計)		
		150人	200人(350人)	200人(550人)
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進 課 【 098-866-2503 】		関連URL	https://okinawa-dx.com/ □

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	DX人材養成事業			予算事業名	DX人材養成事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託		40,874	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	45,285
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
DX推進の中核人材を養成するため、DX推進リーダー、DXコンサルタント、データ活用人材の各養成講座を実施した。				引き続き、DX推進の中核人材を養成するため、DX推進リーダー、DXコンサルタント、データ活用人材の各養成講座を実施する。		

活動指標名	各講座の受講者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	189人	150人	100.0%	順調	企業におけるDXの取組を牽引する人材を育成するため、DX推進リーダー、DXコンサルタント、データ活用人材の各養成講座を実施した。 講座回数：29回、受講人数：延べ189名

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和4年度DX人材養成講座の受講者数について、目標値150名に対して実績値189名であり目標を上回ったことから、順調に進捗している。受講者アンケート結果は「とても良かった」「良かった」を合わせて90%で満足度も高く、DXに必要な知識及びスキルの向上によりDX推進担当の育成が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	年度当初の予定にはなかったが、単発の応用講座や成果報告及び事例共有を行うイベントを追加実施し、IT企業と非IT企業の交流による異業種間の連携・協業を促進した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	講座受講で得られた知識を活かして所属企業内でDXを進める際には、様々な課題に直面することが想定されることから、企業においてDX中核人材として活躍出来るよう、受講後のフォローが必要である。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	令和5年度事業においては、前年度受講生を対象としたフォローアップを実施し、各企業において着実にDXの取組が進展するよう支援する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-ア	産業のイノベーション創出を担う高度人材の育成と活用	施策	②県内企業におけるデジタル活用人材の育成
			施策の小項目名	○各産業のDX促進及びデジタルリテラシー向上に向けた支援
主な取組	従業員のデジタルリテラシー向上に向けた支援		対応する成果指標	デジタル活用人材の育成数(累計)
施策の方向	・各産業のDXを促進するため、企業の経営者や中堅社員等を対象にデジタル技術やビッグデータのビジネス活用、企業DXの取組事例等を紹介するセミナーの開催に取り組みます。企業DXの中核となる人材の育成、従業員の学び直しやデジタル対応力を高めるための研修プログラム等を支援することにより、県内企業全体のデジタルリテラシー向上を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
幅広い業種の従業員を対象に、日常業務でデジタル技術が使いこなせるよう、基礎的なデジタル技術の知識や活用ノウハウの習得に向けた支援を行う。	県,民間	デジタルリテラシー向上のための講座やセミナーの実施		
		各講座の受講者数(累計)		
		200人	250人(450人)	300人(750人)
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進 課 【 098-866-2503 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	産業人材デジタルリテラシー強化事業			予算事業名	産業人材デジタルリテラシー強化事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
各省計上	委託		28,300	主な財源	実施方法	当初予算額
				各省計上	委託	30,023
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
幅広い業種の従業員等を対象に、デジタル技術の具体的な活用方法やデータ利活用に関する基礎的な知識習得のための講座等を開催した。				引き続き、幅広い業種の従業員等を対象に、デジタル技術の具体的な活用方法やデータ利活用に関する基礎的な知識習得のための講座等を開催する。		

活動指標名	各講座の受講者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-人	-人	387人	200人	100.0%	順調	全産業の従業員等を対象に、基礎セミナー (5回)、デジタルリテラシーセミナー (計9回)、デジタル技術利活用講座 (9回) を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

- ・各講座等の受講者数は目標値を上回っていることから、進捗状況を「順調」とした。
- ・本取組の成果目標：講座等の参加者数200名に対し387名の参加実績となったことから、多くの従業員のデジタルリテラシーの向上が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
	当初予定になかったが、デジタル技術に対する苦手意識の克服等を内容とする「基礎セミナー」の追加実施することで、より幅広い層のニーズに対応できるよう講座内容の充実を図った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	当該講座等が民間主体の自主事業として継続的な取組とする必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	当該講座等が民間主体の自主事業として継続的な取組となるための支援のあり方を検討する。
⑦ その他(改善余地の検証等)	企業のデジタル化やDX推進については、各業界や業種毎に異なる課題があると考えられることから、それぞれのニーズ(課題)も踏まえた講座等の内容としていく必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	各業界等のニーズを踏まえた講座内容となるよう検討を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-ア	産業のイノベーション創出を担う高度人材の育成と活用	施策	②県内企業におけるデジタル活用人材の育成
			施策の小項目名	○各産業および教育機関と情報関連通信産業人材交流の促進
主な取組	ビジネスマッチングとIT関連産業の交流を創出するIT見本市の開催支援		対応する成果指標	デジタル活用人材の育成数(累計)
施策の方向	・各産業と情報通信関連産業の人材交流機会を創出するため、ビジネスマッチングを兼ねたIT関連産業の交流イベントを開催するとともに、IT企業と情報技術系学科を有する学校等との相互交流等を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
IT見本市の開催支援により情報通信関連産業と各産業及び教育機関との交流を創出し、併せてWebサイトにてDXに資する事例等の情報が容易に入手できる環境を整えることにより、県内全産業のDX促進を図る。	県,民間	IT見本市の開催支援		
		開催支援件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課 【 098-866-2503 】		関連URL	https://resortech-expo.okinawa/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	ResorTech Okinawa推進事業			予算事業名	ResorTech Okinawa推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	負担	64,738	64,011	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	負担	52,975
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
I T見本市の開催支援により I T産業と各産業及び教育機関との人材交流の機会を創出するとともに、D Xの事例等をWebサイトに集約し発信した。				I T見本市の開催支援により I T産業と各産業及び教育機関との人材交流の機会を創出するとともに、D Xの事例等をWebサイトに集約し発信する。		

活動指標名	開催支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1件	1件	1件	1件	100.0%	順調	県内経済団体及び教育機関による I T見本市のブースツアーを実施することで、出展者である I T企業との交流機会を創出するとともに、I T導入・D X事例や支援施策、セミナー情報をWebサイトで情報発信した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>運営に係る負担金拠出や、実行委員会幹事として運営事務局との調整・アドバイス等の支援したことでIT見本市の開催を実現した。 県内経済団体や教育機関等にIT見本市のブースツアーを提案し、引率付きツアーを4団体、自由閲覧ツアーを4団体(合計8団体)を受け入れることで、IT産業と各産業及び教育機関との人材交流の促進につなげた。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
—	<p>県内経済団体及び教育機関によるIT見本市のブースツアーを実施することで、出展者であるIT企業との交流機会を創出するとともに、IT導入・DXに関する事例や支援情報をWebサイトへ集約し情報発信した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	<p>県内でDXに取り組む企業はまだ少ないことから、IT見本市の開催内容の充実やWebサイトでの情報発信の強化により、さらなるマッチングの機会創出やDXへの機運醸成等を図る必要がある。</p>
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	<p>IT産業を含むすべての産業においてIT人材が不足していることから、各産業及び教育機関とIT企業との交流をさらに促進することにより、デジタル活用人材の育成に繋げていく必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	<p>引き続き、IT見本市の開催内容の充実やWebサイトでの情報発信の強化を図ることで、マッチングの機会創出やDXへの機運醸成等を図る。</p>
⑦ 取組の時期・対象の改善	<p>IT見本市における交流機会(団体や人数)の増加に向けて、各産業及び県内大学、高等学校、高専等の教育機関との連携の強化等の取組を検討する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-ア	産業のイノベーション創出を担う高度人材の育成と活用	施策	②県内企業におけるデジタル活用人材の育成
			施策の小項目名	○各産業および教育機関と情報関連通信産業人材交流の促進
主な取組	IT企業と情報技術系学科との相互交流の促進		対応する成果指標	デジタル活用人材の育成数(累計)
施策の方向	・各産業と情報通信関連産業の人材交流機会を創出するため、ビジネスマッチングを兼ねたIT関連産業の交流イベントを開催するとともに、IT企業と情報技術系学科を有する学校等との相互交流等を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
児童・生徒を対象とした未来のIT人材を育成する様々な事業やITに関する魅力と可能性を伝えるイベント等に対する支援を行う。	県,民間	学生とIT企業の交流イベント開催支援		
		支援事業者件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課 【 098-866-2503 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄未来のIT人材創造事業			予算事業名	沖縄未来のIT人材創造事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助	18,566	18,680	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	16,755
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
幅広いIT人材の育成・確保に繋がるITスキル習熟に関する事業や、ITの魅力等を伝える広報イベント等に対して補助を実施した。				引き続き、幅広いIT人材の育成・確保に繋がるITスキル習熟に関する事業や、ITの魅力等を伝える広報イベント等に対して補助を実施する。		

活動指標名	支援事業者件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	-件	1件	1件	100.0%	順調	生徒・学生とIT企業との交流を含むIT関連産業の広報イベント開催事業に対して補助を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<ul style="list-style-type: none"> ・ IT関連産業に係る広報イベントとして、対面及びオンライン上での「ハイブリッド版ITまつり2023」の開催事業1件に補助を実施しており、目標値を満たしたため進捗状況を「順調」とした。 ・ 当該イベントに係る成果目標：参加者数4,000人に対し6,989人の参加実績となったことから、多くの生徒・学生とIT企業との交流が促進された。 	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県教育庁と連携し、本事業の広報を強化することにより参加者の裾野を広げる取組を実施する。 ・ 職業講話やIT広報イベント等において、情報通信産業やIT技術の重要性について知ってもらい、幅広い層の興味・関心を喚起する取組を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県教育庁と連携し、本事業の広報を強化することにより参加者の裾野を広げる取組を実施した。 ・ 職業講話やIT広報イベント等において、情報通信産業やIT技術の重要性について知ってもらい、幅広い層の興味・関心を喚起する取組を展開した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	事業者において自立的な取組として継続できるようにする必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	事業者において自立的な取組として継続できる方向で支援内容のあり方を検討する。